



# 表通りの県道拡幅計画と連携して寺町界隈のいくつかの道路のイメージアップ作戦が市により検討されています。

寺社  
街道  
(仮称)



和多見町からスティックビルを経て、天神ロータリーまでの道路の構成を変更し（一方通行にする）歩道を広くしようという計画です。こうすれば、道路全体の幅をそのままにして歩道を広くすることが可能です。

天神町、白潟本町の通りの南から北へ向かう一方通行と連携して、北から南へ向かう一方通行とする計画です。現在、バスはすでに一方通行となっています。

かつて、まちづくりの会が発行している寺町界隈21号では、歩車共存のすすめとして、以下の提案がなされていました。

- 歩道ができる安全であるだけでなく、左右をキヨロキヨロしなくてすむので車道の横断がしやすくなります。ひいては道路の両側の一体感が高まります。
- 歩道が確保できれば、街路樹も植えることができます。
- 用地買収が不要であり、街の中心部でも比較的簡単にできます。
- 車にとって少し不便なために、地域に用事のない通過交通が減ります。
- その手始めに、寺社街道で短期間、実際に試してみてはどうでしょうか。



## 「寺町のまちづくりを考える会」活動方針

本年度の「寺町のまちづくりを考える会」は、

- ①万代町以外の地区（和多見町・北寺町・南寺町）のまちづくり協定の締結。
- ②寺町（和多見～南寺）通りの、歩道の整備と一方通行化の研究
- ③「寺町界隈」の発行。
- ④東林寺さん跡地の利用方法などまち並みに関する地域住民の提案。

また、これまでの活動内容の総まとめをいたします。よろしく御協力下さい。

私たちは、松江のまちのこれからについて、多くの仲間と熱く語り合い、そして小さなことでもいいから、実際に何かコトを起こしたいと考えていた。

私たちが発行している松江のまちづくり情報誌「まちづくりサロン」がこれから軌道に乗り始めようというとき、寺町にあるこの建物に出会った。

シックなイタリアカラーの看板と相当に年期の入ったフローリング、アンティークなイスと机。仲間と共にここで借りることが決まるのには何のためらいもないかった。

寺町サロンは、私たちの活動の拠点とはなるが、私たちだけの場には決してしたくないと思っている。

風が心地よく通り色々な人がふらっと立ち寄ってくれるような場所にしたい。

連絡先：金坂浩史 0852-28-1125

寺町サロンオーポン



散歩道周辺は寺社が多く立ち並び、この沿道にも3つの寺社が隣接していることから、寺社の景観と調和した親しみのある通り道として歩行者優先の道路整備を行う必要があります。

寺社景観にふさわしい和風のイメージをもった舗装構成をするとともに、地元住民の通り道や参道として利便性と安全性の高い歩行者優先道路とする予定です。



JR高架沿いの道路（北側）を、駅から県立美術館へのプロムナードとして整備する計画です。

工事中の県立美術館のオープンにあわせて来年の竣工を目指しています。舗装を石敷きやタイル貼りにし、街路樹や街路灯を設置することになります。

現在、JR高架下は駐車場として利用されていますが、この一部に木を植えたり、遊具やオブジェを置いて公園的に整備することも計画されています。

将来的には、鉄道南沿いの道路（通称アベック通り）も同様の整備が望まれます。